

2018 日本パッケージングコンテスト受賞のお知らせ

この度、日本包装技術協会が主催で毎年開催されています「2018 日本パッケージングコンテスト」において、王子コンテナー、ムサシ王子コンテナーの作品が5点以下の各賞を受賞しました。

日本パッケージングコンテストとは公益社団法人日本包装技術協会が主催し、包装におけるデザインからロジスティクスに至るまで、その年の包装の最高峰と優秀群を決定するものです。

第40回となる今年は、419点もの申し込み総数となりたくさんの注目を集めるコンテストとなりました。

■ ジャパンスター賞／公益財団法人日本生産性本部会長賞

『業務用エアコン室外機向けプロペラファン梱包の改善』
ダイキン工業㈱様、津和産業㈱様、王子コンテナー

業務用エアコン室外機用プロペラファンは、部品輸送の際、複数個の注入式発泡材によりカートン内に固定していた。注入式発泡材はその作業に習熟を要したが、今回は内フラップに固定構造を持つA式カートンと、側面保護と回転止め効果のある底パッドの2点により、注入式発泡材を使わずにプロペラファンをカートン内に固定した。誰でも容易に作業ができ、作業時間も約1/4にすることができた。



■ 日用品・雑貨包装部門賞

『花火用簡易トレー』
㈱若松屋様、王子コンテナー

花火用の段ボールトレーの改善を図った。幅面の段ボールを下側に倒しながら、内側に巻き込む方式でトレーが完成する。組み立て性向上により、大幅な作業時間の短縮が実現できた。段ボールの使用量削減にもつながった。



■ 輸送包装部門賞

『イチゴ4パック 仕切り一体トレー』
上伊那農業協同組合様、王子コンテナー

一般的な仕切り付きトレーは、仕切りが別部品であり、仕切りが固定されていないため、輸送時に仕切りがイチゴパックと一緒に動いていた。仕切りには輸送積段時の荷重を支える役割もある。今回のトレーは仕切りとケースの一体化により、仕切りが動かず、確実にパックが固定でき、別部材もないため、組み立て性も向上した。



■ロジスティクス賞

『大型リチウムイオンバッテリー包装改善』

本田技研工業(株)様、ムサシ王子コンテナ、
王子コンテナ

電気自動車の補修用リチウムイオン二次電池は、様々な輸送経路で世界各地へ運ばれる。従来スチールケースを使用していたが、高額で製造にも時間を要し、今後の需要増に向けた対応が求められた。今回強化段ボールによる包装を開発し、スチールケースに劣らない強度を確保した。更に資材コスト 66%、リードタイムも 75%と大幅な改善となった。



■包装アイデア賞

『ワイヤーコントロール用包材の仕様改善』

本田技研工業(株)様、ムサシ王子コンテナ

自動車のコントロールケーブルは、シフト・セレクト操作を本体に伝える重要部品である。従来海上コンテナを 8 分割したスチールケースに合わせたケースを用いていたが、10 分割の導入により包装仕様の変更が求められた。そこで新たにアーチ状に曲げて縮小したケースに収め、中央と左右に固定用台座を置き、輸送中の部品同士の干渉を抑制した。



なお受賞作品は、10月2日(火)～5日(金)に東京ビッグサイトにて開催されます「東京国際包装展・TOKYO PACK2018」の2018 グッドパッケージング展に展示されます。

同展示会には王子グループからも出展を予定しています。

是非皆さまお誘い合わせの上でご来場をお待ちしております。

■王子グループ TOKYO PACK2018 専用 WEB サイト

<https://www.oji-tokyopack2018.com/>

詳しい問合せは 当社営業本部 CS推進部 山本 までご連絡ください。

メールアドレス：yamamoto2135ta@oji-gr.com